

沢歩きを楽しみ眺望抜群の頂上へ

起点 飯能駅 → 河又名栗湖 入口バス停 (総歩行距離 9.6km, 標準歩行時間 4時間 15分)

終点 河又名栗湖 入口バス停 → 飯能駅

難易度目安: お子さま連れでもゆるやかなアップダウンあり

初心者レベル = アップダウンあり

一般レベル = やや急なアップダウンあり

健脚レベル = 急なアップダウンあり

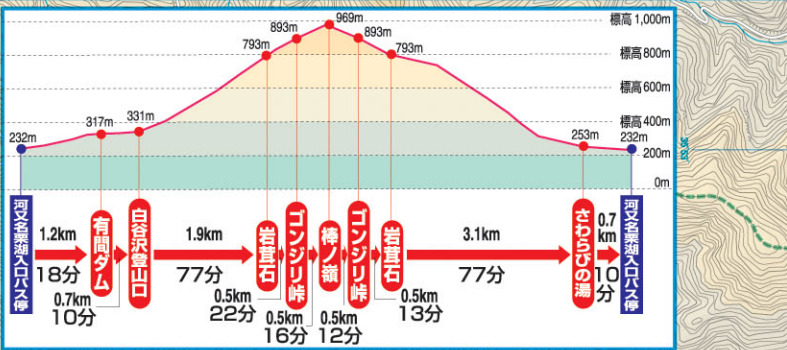
登山レベル = 急勾配が多く

やさしい ↑ ↓ きびしい

■ 棒ノ嶺とさわらびの湯コース (赤線)

■ 他のハイキングコース (緑線)

◁ 小道 ▷



白谷沢登山口: 関東ふれあいの道の標識を右に見ながら山道を登ります。

藤懸の滝: 藤懸の滝をすぎると沢を歩くため大雨の後や冬期の凍結時は、危険ですので通行しないでください。

天狗の滝: 天狗の滝付近では一段と急坂になり、両側にそびえ立つ崖門と呼ばれる大きな岩壁は迫力があります。

白孔雀の滝: 三つの滝のなかで白孔雀の滝は特に美しく、羽を広げた様な広がりで見えています。

棒ノ嶺: 林道を横切ると湧き水が湧いています。そこから急な丸太階段を登ります。

岩茸石: 急な丸太階段が続き滑りやすいので注意が必要です。

ゴンジリ峠: 尾根首ををさんで名栗側はカエデ等の雑木林、奥多摩側は杉・ヒノキとはっきり分かれちょっと不思議な感じ。

さわらびの湯: 疲れもたまってきたところで木の香りの温泉に入ると足の疲れも忘れます。(注意、第一水曜日、定休日、祝祭日を除く)

電泉寺: ヒノキや杉の根っこが地面から露出しているので足元に注意してください。

河又名栗湖入口バス停: かわまたなぐりこいりぐち

● 案内板 ● 休憩舎 ● トイレ

● 役場 ● 学校 ● 交番 ● 消防署 ● 郵便局

● 病院 ● 神社 ● 寺院 ● 信号機

この地図の作成に当たっては国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平23情使、第15-0028439号)
この地図のシェーディング作成に当たっては、「地形モデル作成方法」(特許第2623449号)を使用しました。